

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	義肢装具学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	5F機能訓練室
担 当 教 員	佐伯訓明、東山学史、才寛史、柴大樹				
実務経験とその関連資格	<p>佐伯訓明：理学療法士として病院にて整形外科・脳血管リハなどを中心に9年間勤務。その後はほしやま整形医院に転職し、5年勤務。運動器・スポーツ・脳血管認定療法士の資格を取得。</p> <p>東山学史：理学療法士として総合病院で12年臨床勤務し、脳血管疾患リハ、運動器リハ、呼吸器リハ、循環器リハに携わる。片麻痺の上下肢装具療法、脊髄損傷者の車椅子調整、運動器疾患患者等に歩行補助具の選定・指導、切断患者の義足リハビリテーションに従事。臨床業務に加え、パラスポーツに携わる。義肢装具と関連深い、パラ陸上・車いすテニス・パラスノーボードなどの競技でトレーナーとして活動。認定理学療法(運動器、スポーツ、健康増進・参加)、パラスポーツコーチ、中級パラスポーツ指導員、AHA-BLSインストラクター資格所持。</p> <p>才寛史：理学療法士として回復期リハビリテーション病院に5年間・訪問看護ステーションに2年間・整形外科クリニックに3年間勤務し、回復期・維持期の脳血管疾患や整形外科疾患等を担当。脳血管疾患患者の下肢装具療法及び福祉用具の選定・指導、下肢装具適応の整形外科疾患患者等のリハビリテーションに従事。現在は医療・リハビリ特化型施設に勤務。脳卒中認定理学療法士、福祉住環境コーディネーター2級所持。</p> <p>柴大樹：理学療法士として総合病院に4年、整形外科クリニックで6年勤務し、運動器リハ、脳血管疾患リハ、呼吸器リハ、循環器リハに携わる。現在は臨床で下肢切断の方を担当する機会がある。認定理学療法(運動器、スポーツ、徒手)資格所持。</p>				
《授業科目における学習内容》					
義肢装具学の基本的な知識、疾患毎における歩行や車いすの特徴、評価、治療に関する知識を習得する。					
《成績評価の方法と基準》					
学科試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
理学療法テキスト 装具学・義肢学 石川朗総編集:中山書店					
《授業外における学習方法》					
教科書の予習・講義資料の復習 学科試験は講義内容から出題します。					
《履修に当たっての留意点》					
講義の中で実技を行うので、動きやすい服装(Tシャツ、短パン、ジャージなど)で受講してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	装具・装具歩行を知る	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山 書店		
	各コマに おける 授業予定	装具学総論(正常歩行と装具歩行)			
第2回	授業を 通じての 到達目標	靴、靴型装具の特徴を知る	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山 書店		
	各コマに おける 授業予定	靴型装具を理解する			
第3回	授業を 通じての 到達目標	装具学総論・下肢装具の部品とその機能	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山 書店		
	各コマに おける 授業予定	下肢装具の部品とその機能を理解する			
第4回	授業を 通じての 到達目標	短下肢装具・長下肢装具・股装具・膝装具の特徴を知る	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山 書店		
	各コマに おける 授業予定	短下肢装具・長下肢装具の機能を理解する			
第5回	授業を 通じての 到達目標	体幹装具(頸部含む)を理解する	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山 書店		
	各コマに おける 授業予定	体幹装具(頸部含む)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	体幹装具、側弯症を理解する	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	体幹装具、側弯症		
第7回	授業を通じての到達目標	上肢装具・自助具の特徴を理解する	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	上肢装具・自助具		
第8回	授業を通じての到達目標	車いす、歩行補助具を知る	理学療法テキスト 装具学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	車いす、歩行補助具		
第9回	授業を通じての到達目標	切断と義肢の基礎知識を理解する	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	切断と義肢の基礎知識		
第10回	授業を通じての到達目標	大腿切断・義足を理解する	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	大腿切断・義足(アライメントを中心に)		
第11回	授業を通じての到達目標	下腿切断・義足、その他下肢切断・義足を理解する	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	下腿切断・義足(アライメントを中心に)、その他下肢切断・義足		
第12回	授業を通じての到達目標	切断患者の理学療法を理解する①	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	切断患者の理学療法の全体像(歩行、ADL)		
第13回	授業を通じての到達目標	切断患者の理学療法を理解する②	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	切断患者の理学療法の全体像(活動・参加)		
第14回	授業を通じての到達目標	上肢切断の評価と治療を理解する	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	義手の分類と構造・機能		
第15回	授業を通じての到達目標	義肢学まとめ	理学療法テキスト 義肢学 石川朗総編集:中山書店	
	各コマにおける授業予定	切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点		